

令和5年度

羽田空港アクセス鉄道に係る技術検討委員会

第6回 委員会資料

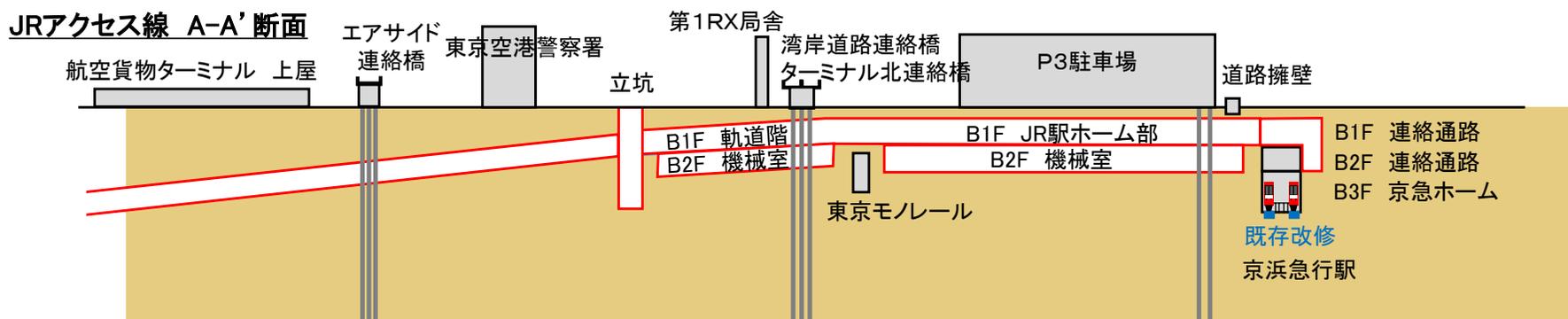
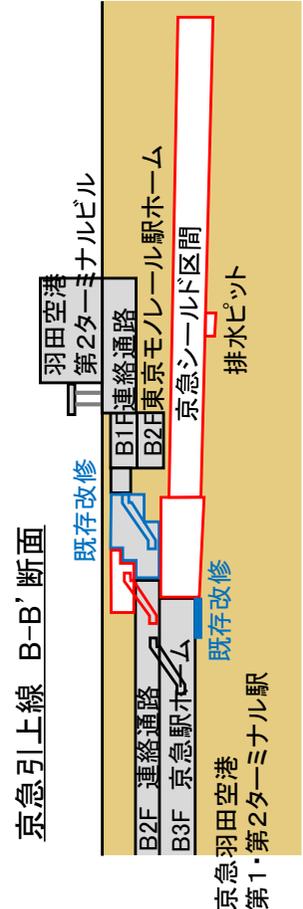
令和5年12月21日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

# 1. 羽田空港アクセス鉄道事業 (1) 事業概要



# 1. 羽田空港アクセス鉄道事業 (1) 事業概要



## (2) 技術的課題の検討方針

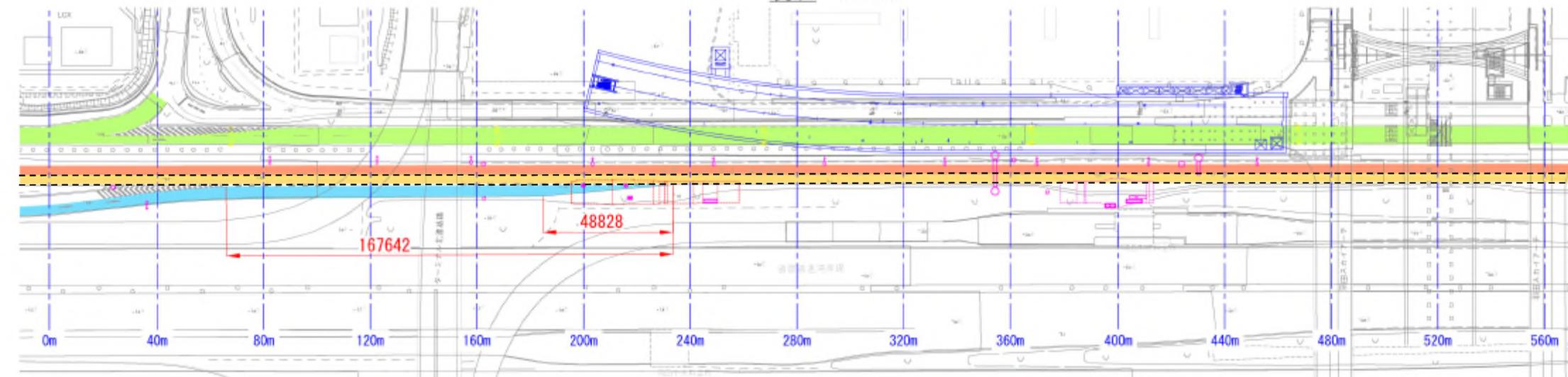
項目	委員会意見	検討方針	技術課題・設計方針の検討状況	工事内容(施工計画)	備考
<b>施工</b>					
J R 開 削 部	RX開削部の施工	—	横内道路の供用の維持やRX局舎の移設を考慮して、対応すべき技術課題を整理する。	<b>【近接構造物への影響の最小化】</b> ・横内道路の供用を維持できる施工方法の検討が必要。 <b>【事業実施に有効な施工手順】</b> ・隣接工区の土留め壁(発進立坑部)との取り合いに留意が必要。	
	ターミナル北連絡橋部の施工	—	供用中の道路橋への影響等を考慮して、対応すべき技術課題を整理する	<b>【近接構造物への影響の最小化】</b> ・首都高及び横内道路の供用を維持できる施工方法の検討が必要。 <b>【事業実施に有効な施工手順】</b> ・道路橋に対して安全であり、制限された現場条件に対応できる施工方法の検討が必要。 ・事業の実施に有効な施工手順の検討が必要。	
	モ/レール交差部の施工	本体の浮き上がりに対する安定のほか、既設構造物に与える影響を考えないといけない。	掘削に伴う営業線への影響(主に浮き上がり)を簡易的な手法で予測し、安全な施工を行うために対応すべき技術課題を整理する。	<b>【近接構造物への影響の最小化】</b> ・営業線に対して安全な構造計画・施工方法の検討が必要。	
	P3駐車場前開削部の施工	備土圧によって過大な土留め変位が生じることで、周辺構造物の安全性を確保するための対策の規模が懸念される。	掘削に伴うP3駐車場の変位量を簡易的な手法で予測し、必要な対策の規模を検討して、対応すべき技術課題を整理する。	・高低差による備土圧に対して安全な構造とすること。 ・備土圧による影響が周辺に対して悪影響のない施工方法とすること。	変位抑制のために、土留め壁に高剛性の鋼製連壁を計画。
	狭隘な現場条件における対策	供用中の道路や駐車場への影響を考慮して、対応すべき技術課題を検討する。	・狭隘な現場条件に対応できる施工方法とすること。 ・周辺構造物に対して安全な施工方法とすること。 ・現況道路の供用を維持した施工方法とすること。	交通への影響が大きい国道357号線については、当初に大きく切り直し、事業完了まではその形状にて通行させることとし、影響を最小化する計画。 仮設橋梁による道路切り直しを計画。	



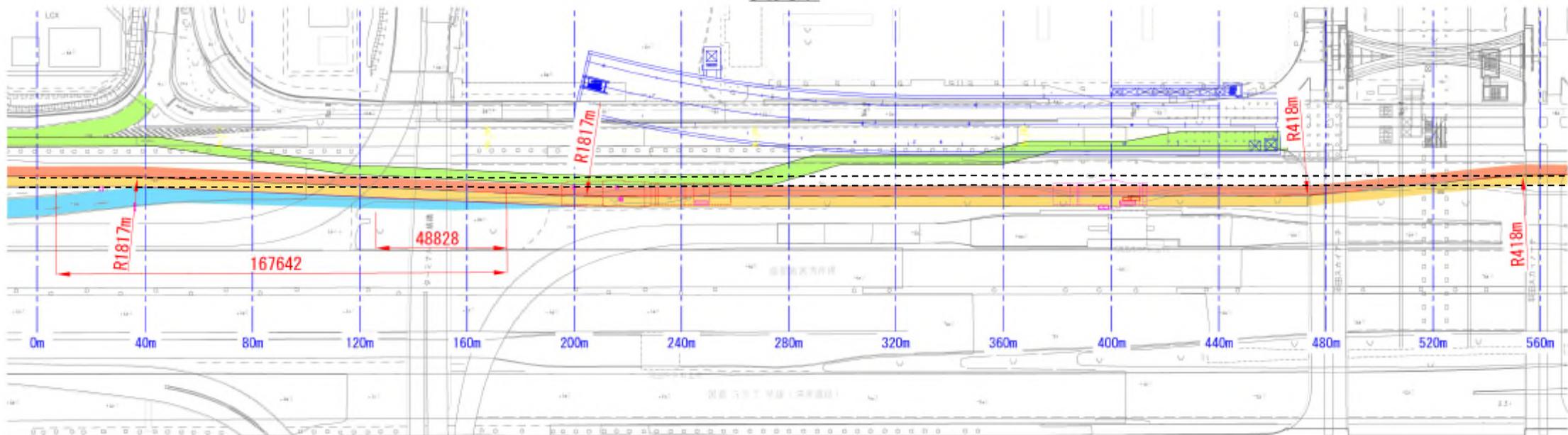
## 2. P3開削部工事内容の報告

### (2) 狭隘な地盤条件への対応

現況 S=1/1500



変更案



交通への影響が大きい国道357号線については、当初に大きく切り回し、事業完了まではその形状にて通行させることとし、影響を最小化する計画。

- : 現況の国道357号線の位置
- : 東側構内周回道路
- : 国道357号線
- : 首都高速湾岸線出口からの車線